



# 燦々と燃ゆる陽



本別高校HP QRコード

## 【CS事業：国際理解教育】 オーストラリア研修代替事業(国内英語研修)が決定

令和5年3月3日(金)～5日(日)、「English Mode” By Hilton Niseko Village」と題して、国内英語研修を実施することとなりました。(本別高校の教育を考える会の主催による本別町教育委員会での実施)

考える会では、3年連続で中止としているオーストラリア海外の代替事業を決定しました。本来は、2年生を対象としていますが、昨年度実施できなかった3年生も対象としています。

国内(虻田郡二セコ町)の英語研修ではありますが、英語の学びだけでなく、多様なものの見方や文化の違いなど語学外の多くの学びがあるため、特に、2年生においては、可能な限り参加して、見聞を広げて、自己の将来に生かしてほしいと思います。12月7日(水)に生徒を通して参加申し込み用紙を配付



しています。1月23日(月)まで申込できますので、積極的な参加を期待しています。

1. 目的:本別町の学びの主軸である英語教育の集大成として、英語での語学研修や交流を通じて、海外の関心と英語に対する学習意欲の向上を図り、自分の将来につなげるためのきっかけづくりとする。
2. 研修期間と場所:令和5年3月3日(金)～5日(日)の3日間、虻田郡二セコ町東山温泉(ヒルトンニセコレッジ)
3. 研修内容と日程:
  - 3/3 役場駐車場発(貸し切りバス)ー 千歳空港(昼食)ー ホテル着 ー 英語交流やテーブルマナーなど
  - 3/4 外国人インストラクターによるスキー研修 ー 翌日の英語プレゼンテーションの準備
  - 3/5 英語によるプレゼンテーション ー 帰路(役場駐車場着17:30)

詳細については、12月7日配付した「オーストラリア研修代替事業(国内英語研修を)の実施について」をご覧ください。後日、参加者には説明会を実施します。

## 【進路指導】 2年生模擬試験の事前・事後指導を開始しました

1月14、15日、大学入試共通テストが行われました。2年生も1年後、国公立大学を志望(一般入試での受験)する生徒にとっては、避けて通れないテストです。そのため、本校では、進学するための学力・意識・姿勢などを身に付けてもらうための指導を始めました。

この1月～3月の時期が学力を付けるため最も適している時期です。この時期にどれだけ今まで学んできた学習内容を身に付けられるか、そして、学習習慣をつけるかがカギです。模試の結果に一喜一憂することなく着実に学力をつけて欲しいと思っています。また、放課後、開設している「学びの部屋」を利用するなど、夢への一步を踏み出してください。



【学びの部屋】

対象模試：令和5年2月4日(土)実施、大学入学共通テスト模擬試験

指導内容：①1/17:目標設定(進路指導部)、②1/20:受験者情報提示(進路指導部)

③1/23～2/3:事前学習指導(各教科担当による個別指導・相談)

④2/6自己採点(進路指導部)、⑤事後指導(各教科担当)

※ 模試の結果は3月中旬に本人に渡されます。

## 【吹奏楽部：感謝申し上げます】 - ドラムセットを寄贈いただきました -

この度、十勝池田地方法人會本別支部（支部長：朝日基光氏）から、ドラムセットの寄贈をいただきました。この寄贈は、毎年社会貢献活動の一環として福祉施設や教育機関等に寄贈をされています。今年度、吹奏楽部が12年ぶりに吹奏楽コンクール全道大会に出場したことを記念して寄贈いただいたもので、古かったドラムセットを新調させていただきました。定期演奏会（12月10日）当日に贈呈式を行いました。



朝日支部長から「吹奏楽部の皆さんが頑張っていて何かしてあげたいと思いました。吹奏楽部の活動が益々盛んになることを期待してます。」との温かい言葉をいただきました。その後、吹奏楽部大泉部長が代表して謝辞を述べました。今回の寄贈は、楽器を購入する予算も限られているため、とてもありがたいものです。大切に使用させていただきます。

## ★ 冬季休業明けの校長講話（1月17日、全校集会）

先日、本校に朗報（喜ばしいお知らせ）が届きました。令和2年度から行われている探究活動（とち創生学）に関わり、本校教職員一同が、令和4年度文部科学大臣優秀教職員表彰を受けることとなりました。

地域の方々との協働した活動や取組が高く評価されたものです。本校の教職員を誇りに思います。また、この活動において、粘り強く取り組んだ卒業生や3年生をはじめとする本校生徒全員の頑張りが評価されたものだと思っています。本日、午後から東京（文部科学省）で表彰式があります。出席はしませんが、後日、表彰状が届きますので、なんからの形で披露したいと思っています。

さて、休み前、斧を研いでる暇もないという木こりの話から、「身体と頭」をいかに使っていくかと、その大切さについて話をしました。今日は、先（特に、一歩先）を見ること（危機管理など）の大切さの話をします。冬休み前、全校集会で先生の話の後に、教頭先生が豪雪への対応、（無理して登校しないなど）について、話をしてくれました。特に、予定していたわけではありませんでしたが、皆さんが事故に遭わぬよう、先々を考え、話をしてくれました。

身近に、いろいろな危険（危機）があり、危険（危機）から自己を守ることが大切です。創造力を働かせて、何をすべきか一歩先を見越せる人になって欲しいのです。このことは、今日から始まる学校生活についてもそうです。例えば、勉強しなければ、進級できない、希望する進路先に行けないなどのことも考えられます。そうならないよう行動することも、ある意味、危機管理です。「何事も創造力を働かせ、先を見て、考えて行動して欲しい」。目の前のこと、その先まで、創造力を働かせ、よく考えて行動してほしいのです。そして、今、行動する、又は、しないことで、「最悪」と「最高」の状況の両方を考えるようにしてほしいのです。先々を考えることを習慣化することで、皆さんが、今すべきことが見つかるはずです。（年度当初の4月に、先生が皆さんにお願いしたことは、「挑戦」）

今年は、「兎年」、生徒の皆が、大きく跳ねる（飛躍）することを期待して、話を終わります。